FORZA駒澤 選手紹介 PART18

川村　慶一郎（DF・4年）

第18回目の選手紹介は川村慶一郎選手です。ノリとひらめきを大事にして生きてきたこれまでの人生、駒高ならではのエピソードや大学の下積み時代の話、最後は、残り少ない駒大サッカーに懸ける熱き思いを語っていただきました。

右45度の男

サッカーを始めたきっかけは、川崎生まれなので、ヴェルディってことになって、カズとかにも憧れてたからだと思います。でもまぁ結局はノリだと思うんですけど（笑）、気づいたら小3くらいからやってました。小学校のチームは5年のときはちょー強かったっす。川崎市ではとりあえず無敵で、市内だったら負ける気がしなかったです。でも6年になったら一人名古屋から引っ越してきたお兄ちゃんがヴェルディのユースの奴が来たんですけど、そいつもヴェルディに絶対入りたいっていうのがあって、自己中なプレーっていうかもうアピールしたいから、みんなあんま言わなかったけど敵というよりもそいつに壊されたっていうかやられました（笑）。思い出に残っている試合は5年の頃の川崎市で一番を決める準々決勝か、準決勝の試合なんですけど、他の奴がケガして途中から入って、PKまでいって5人蹴ったんですけど、それでも決まらなくて、7番目くらいで前の奴が外して、俺が蹴って決めてワーッみたいな（笑）。そのときの写真を誰かおじちゃんとかが撮ってくれていて、それは家に今でもあります。まぁそれは過去の栄光です（笑）。

中学校はクラブチームです。部活だったら一年のときは雑用とかばっかりで微妙なのかなぁと思っていたので、結局はノリじゃないですか（笑）。監督は読売のOBでラモスとか来る前にやっていたひとなんですけど、上手くてサッカーってものを知ってるし、怒るときはほんとに厳しいし、その中でも俺はほんと下手だったから俺はちょー言われました。なので、中学時代は技術面よりかは主に精神面を学ばしてもらいました。学校では、中1のときは俺も悪くて授業とかも聞いてなかったと思うし、こっちに黒板があっても違う方向を向いたりとかしてて・・・だから「右45度の男」って呼ばれてました（笑）。黒板に対して右45度を保って、うしろ向くのは自制してたんですけど、我慢できなくて前向けずに半分で45度みたいな（笑）。

ビビリだった

高校はサッカーやるために大阪に行こうっていう考えもあったんですけど、そのときはまだビビリだったから（笑）、ひとりで大阪行くっていうのは断念して、成績から進路の先生に駒高を勧められて駒高になりました。サッカーをやるためとかじゃなくて、進学はしないといけないからとりあえずノリで決めました。あと当時は体格もゴツかったので東京の高校からラグビーのオファーも来ていました（笑）。サッカー部では3年のときは湯川とか武井とかあーちゃん（安田弘典）とかが3人で攻めて、あとの残りで守るとかそういう感じでした。高校のときは湯川がスーパーでしたね。高校時代「も」か（笑）。

駒高はとりあえず仏教学校で、一年の時には皆やっていたんですけど昼飯のときに五観の偈（ごかんのげ）っていうのを唱えないといけなくて校内放送とか流れるんですよ。仏教系の先生が、『ひとつに…』とか言ったりするのを、一年のときにはみんみんなまじめだから復唱とかしてたりとかしてたんですけど、二、三年になれば『別にいいっしょ』みたいな感じになって弁当とかも2時間目終わったら速攻食ったりとかしてました。規則とかは厳しかったし、頭髪・服装検査も結構厳しかったです。でも、俺は一回も引っ掛かってないです。俺は染めたりとかしてないですもん。そういうのはいかにかいくぐるかっていうことがキーポイントだと思います（笑）。

目標は3冠

大学のサッカー部には、駒高からそのまま行く人たちとやるやるってことになって、自分もサッカー好きだったし面白かったから、挑戦しようかなって感じでやりました。学部はほんとに自由で、校内テストで順位を決めるんですよ。11クラスあって400人くらいいたと思うんですけど、1位から順に学部の希望を出して決めていくって感じです。俺はノリとひらめき的に経済っていうのがあったんで経済学部にしました（笑）。

一年の頃はやっぱり自分の授業が終わって練習の1時間前に来て、雑用であったり水汲みであったりボール拾いであったり、いろんなことをしなきゃいけないし、Cチームでの練習もキツかったです。でも、ほんとに一人だったらできなかったし、みんながいたからこそ乗り越えられたっていうのはあります。夏の走りとかはほんとにキツくて、何度も今日休もうとか考えたんですけど、みんなで結束したから乗り越えてたんじゃないですかね。

ーリーグも今年から少し出れるようになったんですが、去年もあと少しのところで早稲田に負けて、この前も負けてるんで全国に行って絶対に借りを返したいっていうのはあります。だから、軽い練習しかしてなくて全国に行けないならまだ分かりますけど、今みんなでキツい練習とかやってるし、応援にわざわざ来てくれる人もいるのでその期待に応えたいです。秋田監督は、駒大のサッカーつまんないとか、蹴ってばっかで面白くないとか言われても、自分の信念を貫いて勝つためにはどうするべきかっていうのを知っていて、そこで勝者のメンタリティっていうのを知れたっていうのはうれしいし、ありがとうございますって感じです（笑）。

総理大臣杯は負けてしまったけど残りのリーグ戦、インカレ、あとーリーグも全国制覇すれば3冠なので絶対にとりたいです。ひとつでも駒大としてのやり方、駒大としての自覚、誇りであったり粘り強くとか仲間のためにっていう風に思えるようなサッカーを後輩にも見せたいですね。最後に笑顔で駒澤で4年間やってきて良かったねとか、いい仲間に出会えて良かったねとかで終われれば、本当にベストだと思うし、尚かつ結果もついてきたら最高なんで、A・B・Cチーム問わず練習から頑張って結果残せるようにやっていきたいです。

PROFILE

●かわむら　けいいちろう／1985年9月9日生まれ。173㎝、72㎏　南百合丘小（南百合丘少年SC）―長沢中（ヴェルディSS相模原）―駒高。家族構成は、父、母、弟。長所はひらめき。短所は喜怒哀楽が激しい。好きな選手は山田ラファエル。得意なプレーはキック。趣味はインターネット。好きな言葉は「悪童」

発行人　塩田英美
スタッフ
土屋春佳　中野成博　星　宏樹
北澤麻紗子　大畑淳一　上瀧悠平
埜村翔平　吉岡克洋

～お知らせ～
ＦＯＲＺＡ駒澤ＢＯＸを駒澤大学駒澤校舎内の食堂にあるアイスクリーム売り場、学生部に設置しています。毎週金曜日に置いているので、ご自由にお持ちください。

FORZA駒沢は毎週金曜に発行！お便り、感想などはこちらまで
〒154―8525　東京都世田谷区駒澤1―23―1
駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」Ｅメール
forzakomazawa@hotmail.com
TELFAX 03（3418）9556　発行人　塩田英美

横山秀平から見た 川村慶一郎

俺より駒大愛ありますよ。本当に好きですよ駒大のこと。多分（笑）得点王目指そうね。

次節は早稲田大学と対戦！

＜場所＞たつのこフィールド
＜日程＞11月18日（日）
11：30～

競技場へのアクセス

・関東鉄道龍ヶ崎線「龍ヶ崎駅」下車。路線バスまたはコミュニティバス循環ル　ート内回り、「総合運動公園」下車
・ＪＲ常磐線「佐貫駅」下車、「佐貫駅入口」バス停よりコミュニティバスＡルート　「ショッピングセンタープラザ」下車しコミュニティバス循環ルート外回りに乗　り換え、「総合運動公園」下車